

入院診療計画書

脊柱管狭窄症で手術をお受けになる パス テスト001 様へ

整形外科 病棟 病室
患者番号 0008985093

主治医氏名		印						
主治医以外の 担当者 氏名	担当医師 看護師長 担当看護師 管理栄養士 リハビリテーション部	【患者または代理者同意署名】 年 月 日 氏名 *代理署名の場合 患者との続柄 ()						
	病名							症状
推定入院期間	入院日 (月 日)	手術当日 (月 日) 手術前	手術後1日目 (/)	手術後2日目 (/)	手術後3.4日目 (/)	術後5日目~14日目		
注射・ 内服	入院中に薬剤師が薬剤指導を行い、薬剤師による注射薬・内服薬についての説明があります。	手術前に点滴や注射をすることがあります。	手術後、抗生剤の点滴をします。手術室より痛み止めの点滴が持続的につけてきます。	抗生剤の点滴をします。	抗生剤の点滴をします。食事摂取量に合わせて点滴を終了します。	特にありません	特にありません。	特にありません。
	お薬手帳の確認を行います。	手術当日医師の指示により指定した時間にお薬を飲んで頂く場合があります。	特にありません。	手術前に飲んでいた飲み薬を再開します。痛いときには痛み止めの薬がありますので、我慢をしないで看護師に声をかけてください。				薬剤師が退院後の薬剤指導を行います。退院時に必要な薬があれば医師、看護師に相談してください。
検査	採血をします。	特にありません。	手術室で採血をします。	採血をします。	特にありません	手術後4日目に採血をします。	術後1週間目採血をします。腰部のレントゲン撮ります。	術後2週間目採血をします。腰部のレントゲン撮ります。
処置	特にありません。	手術に行く前までに血栓予防のために弾性ストッキングの装着を行います。	弾性ストッキングの上にフットポンプをつけて帰室します。創部より排泄の管が入ってきます。	一日一回弾性ストッキングの履き替えをします。弾性ストッキングは歩行が安定するまで続けます。	トイレに行けるようになったらフットポンプをはずします。	出血量が少なくなってきたら創部の管を抜きます。(個人によって日は異なります。)	創部の確認をします。	創部の確認をします。
教育・ 説明・ 指導	病棟の設備や手術前や後の流れについて説明を行います。 【手術必要物品】 T字帯・吸い飲みまたはストロー。必要物品のは売店でも購入できます 手術前日の午後に麻酔科の受診があります。	手術について不明点がないか確認を行います。わからないことがあったら看護師に相談してください。	手術後は体温や血圧、脈拍、創部、足の動きの観察などを行います。痛み止めの点滴が入ってくる際は看護師が使用方法を説明します。	退院まで、体温・脈拍・血圧・創部の観察、足の動きなどの確認を行います。		リハビリ室での移動をお手伝いします。週末はリハビリでの状況に合わせて、病棟リハビリを行います。		退院に向けた日常生活での注意点や創部の観察の方法など退院指導を行います。不明点があるときには担当医師や看護師にお尋ねください。退院の日に次回受診日の再診表を渡します。
安静度	とくに制限はありません。転倒しないように靴の着用をしてください。病棟を離れる際には看護師に伝えてください。		ベッド上安静です。体の向きを変えることはできますので看護師がお手伝いをします。	必要時コルセットを装着して、車椅子への移動を開始します。		リハビリの進行状況によって、行動範囲も拡大します。		
食事	手術前日の24時以降は摂食禁止となります。	麻酔科の指示により水分制限があります。手術の日は食事はできません。	手術後おなかが動き始めたら、お水を飲むことができます。看護師がお手伝いします。	朝から食事が出ます。医師の指示がなければ食事の制限はありません。				
排泄	歩けない方は車いすです。トイレに行けるようにお手伝いします。		尿管が入ってきます。排便があるときはベッドの上で排泄となるので、看護師がお手伝いします。	尿管が入っています。トイレに行けるようになったら尿管を抜きます。	トイレに行くときには車いすでお手伝いをします。		リハビリの状況でトイレまで歩いて行くこともできます。	
清潔	シャワー浴をします。	特にありません。	特にありません。	陰部を洗い、体を拭き、病衣の交換をします。	体調に合わせて体を拭いていきます。	シャワー浴は体調と創部の様子で開始となります。	シャワー浴のお手伝いを行います。	自分でシャワー浴ができるように介入します。
リハビリ	特にありません。	特にありません。	特にありません。	特にありません。	特にありません。	リハビリ室でのリハビリを開始します。個人によってリハビリメニューは変わります。	歩行器やT字杖など補助具を使用して歩く練習を行います。筋力訓練を行います。階段の上り下りの練習も行います。	退院に向けて床からの立ち上がりなど日常生活の動作の訓練を行います。退院後も自分でできるリハビリを覚えましょう。
その他	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし	退院の日は午前10時までに退院となります。お会計は退院日に支払うか、誓約書となります。

*病名等は、現時点で考えられるものとなりますので、今後検査を進めていくうえで変更される可能性があります。
*入院期間については、現時点での予想となっており、状態に応じ予定が異なることも考えられます。
*何か質問がある際は医療者にお尋ね下さい。